



馬の学校

# 馬の学校通信 2010.12 vol.40



発行 馬の学校

事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留 645 ハイム上野原 206 TEL/FAX : 0554-63-5534

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : <http://www.horseschool.org>



## 秋のプログラム 活動報告

### 馬とのふれあいプログラム (服部 11/13・21、12/4)



スタッフのお兄さんとお話



馬の首を触ってみよう!



馬はどこ??



かっこいいでしょ



そうじもがんばりました



### NPO 法人信州そまびとクラブ 講座



馬にさわってみよう!



軽乗鞍で速歩まで体験しました



Merry Christmas!

## 2010年 活動報告

- 3月 6日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 3月25~28日 ウマキャンプ (清里)
- 4月24日 ファミリープログラム (和知)
- 4月25日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 5月22日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 6月12日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 7月30日 大阪 YMCA 国際専門学校  
乗馬体験プログラム (和知)
- 8月17~20日 ウマキャンプ (清里)
- 11月13日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 11月20日 ファミリープログラム (和知)
- 11月21日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 11月25日 穂高北小学校「馬の授業」
- 12月 4日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 12月11日 NPO 法人信州そまびとクラブ 講座  
「生き物で癒されるホース・ヒーリング」

## 穂高北小学校での「馬の授業」

11月25日、昨年に引き続き、安曇野市立穂高北小学校 6年生 120名を対象に「馬の授業」を行いました。総合的な学習の時間で命の大切さについて学習している授業の一環で、馬についてや馬の個性を生かすこと、馬という生き物に向き合うことなどについて教室で話した後、校庭で乗馬体験をしました。校庭を1周ずつでしたが、馬の揺れやあたたかさは子どもたちに伝わったようです。最後のにんじんあげでは、馬たちの食欲に圧倒されつつ、食べている間に馬の鼻面を触ってみたりと、触合いを楽しんでいました。

ご協力いただいたホースランド安曇野の皆さん、お手伝いいただいたお母さん方、準備や後片づけを手伝ってくれた児童のみなさん、ありがとうございました!





## 「馬の授業」の様子



ドキドキわくわくの乗馬です



先生も乗馬に挑戦！

「あっ！んじん！！」



## 感想文から

- ・命を大切にすることは、自分が出来ることを精一杯やることだと思いました。
- ・お馬さんは大きくて、あったかくて、やさしくて、ゆっくりゆっくり歩いてくれました。すごくやさしい目でした。
- ・馬に乗ってみるとすごく気持ちよかったです。なんか、馬がリズムにのって、歩くような気がして、「またのってみたい」と思いました。
- ・その時（乗馬の時）見た景色は、いつもの景色とはまったく違うものでした。ぼくは、少し高さかわるだけで、こんなにも景色がかわるんだなと思いました。

## 「アルムとシーザーがくれたもの」 岡本悠

（一部抜粋）

私が初めてシーザーに出会ったのは小学校2年生のときでした。

.....

シーザーとアルムを見てわかるように、どの馬にだって、できることとできないこと、いいところと悪いところがあります。私たちにだって、それぞれ得意不得意があります。そう考えると、馬も人間も同じです。馬にだって心があります。言葉に表現することはなくても、私たちと同じように感じ、考えています。

シーザーとアルムが教えてくれたこと。それは、馬だって人間だって見た目も性格も好き嫌いも、得意不得意も一人ひとりちがう。それは、みんな知っている当たり前のことです。でもその当たり前のことが何よりも大切だということ。みんな違う。だからいい。だからこそ、一人ひとりがかけがえのない存在なのだということ。

.....

長さは違って、生きていく環境が違って、重さは変わらない命を持っています。毎日の繰り返しの中で、つい見失ってしまいがちな大切なこと。それを、馬達はその関わりの中でそっと気付かせてくれます。

だから、ぜひ、みなさんも、馬と接してみてください。乗るだけでなく、鼻をなでてみる、にんじんをあげてみる、など小さな関わりの中でも、きっと、何かに気付くことができると思います。



## 編集後記

この冬は急に寒くなったと思ったらまた暖かくなったりと体調管理が大変ですが、風邪などひかれていないでしょうか。馬の学校では、12月11日を最後に全てのプログラムを無事に終えることが出来ました。

今回の「馬の授業」では、穂高北小学校の卒業生でもある姪の岡本悠が、高校の授業を休んで手伝ってくれました。教室でのお話の際は、授業のためにと書いてくれた作文の朗読をしてくれました。小学2年生から小須田牧場で馬たちとかかわってきた姪の、思いが込められた作文は、子どもたちの心にしっかりと届いたようです。またホースランド安曇野の方のご配慮で引き馬デビューを果たし、大きな自信につながったのではと思います。子どもたちが馬から学んだことを、他の子どもたちに伝えてくれることはとても嬉しいことですし、お互いにとっていい体験になるでしょう。

（峯崎友香理）

\*「馬の学校活動報告」のブログ更新中！のぞいてみてください。→ <http://ameblo.jp/horseschool/>